

08松土第 612 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

松阪市長 下 村



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありました標記について、
別紙のとおり回答致します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県松阪市

道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的な社会基盤であります。

しかしながら、本市における道路整備はまだまだ不十分であり、産業や観光の活性化、交通渋滞の解消、交通事故の削減のために幹線道路の整備が重要であります。

さらには、狭隘な道路の拡幅、歩道やガードレールの設置、老朽化した橋りょうの耐震補強等多くの課題をかかえている状況であります。また近年、少子化が進み人口の減少に向おうとしているなか、地方都市にとって市政の運営は極めて厳しい状況であり、市町において特別に人口が増加し、産業が発展することは望んでも叶うものでもなく、地方との交流を深め、交流人口の増加を図ることが大切であると考えております。

地方と地方を結ぶ、例えば中部圏と近畿圏を結ぶ高規格道路の整備も不可欠であります。

平成17年1月1日、1市4町の合併に伴い行政区域が623.82km²と広大となったことから、「地域の活性化」のため地域間を結ぶ道路、また防災・減災対策として「安全安心」の確保のため緊急避難道路の整備を行い、基幹道路を計画的な推進することが重要であります。

以上、地方都市にあっては市街地の道路、合併に伴い拡大した市域の地域間を結ぶ道路及び、地方都市が生き残っていくための高規格道路の必要性について強く要望いたします。

② - 1 地域の現状と抱える課題

三重県松阪市

○現状

道路整備を行う。

安全で快適な道路の整備を行う。

交通体系の整備を行う。

○課題

慢性的渋滞の解消および、未整備区間における自動車・歩行者の安全確保が求められる。

各地域を結ぶ幹線道路や生活に必要な道路の整備を推進する必要がある。

歩道のバリアフリー化や景観に配慮した電線類の地中化等の整備を進め、すべての人が使いやすい道路の整備を行う必要がある。

市民生活や都市・産業活動などはもとより安全面やライフラインとして整備に取り組む必要がある。このため、まず大規模災害の緊急避難・輸送路として重要な役割を担う道路の整備を進める必要がある。

② - 2 地域の目指すべき将来像

三重県松阪市

平成17年1月に1市4町が合併し新「松阪市」が誕生しました。

これからの都市（まち）づくりを考えると、歴史的にも地勢的にも南三重の交通の要衝として、活力があり、安全で安心できる国土の実現には、全市民共有の社会基盤である道路を計画的に整備・維持することが重要であります。

松阪市は、南三重の玄関口として中部国際空港への海上アクセス「松阪ベルライン」を整備し、関係する地域間や産業間の交流および集積の拠点となるよう、商業・工業・観光の振興に取り組んでいるところであります。南三重を元気にするために、歴史・文化等の交流連携を図り、経済の大動脈となる東海南海連絡道、伊勢湾口道路が必要であります。

物流および市民生活の向上を図るため又、大規模災害の緊急避難・輸送路としての役割を果たすために、広域幹線道路網の整備を促進します。

自転車と歩行者が安全に共存でき、誰もが安心して快適に移動できる道路整備に努めます。

○重点事項 安全・安心な生活環境の実現 地方都市の連携強化	○代表事例 国道 166 号改良工事（田引バイパス・蓮峽線バイパス）及び歩道設置工事 県道松阪環状線改良工事 国道 23 号中勢バイパス・国道 42 号松阪多気バイパス工事	○期待する効果や評価等 国道 166 号は旧松阪市と奈良県境に近い旧飯高町、飯南町を結ぶ唯一の幹線道路であることから、大規模災害の緊急避難・輸送路としての役割が重要である。 また、合併に伴う学校の統廃合より通学路として多くの生徒が利用するため、安全の確保が重要である。 国道 23 号（東黒部地域）から中心市街地への重要な導線である。また、市街地から放射線状に伸びる国道 42 号松阪多気バイパス・国道 166 号とも接続し、都市間を結ぶ重要な道路である。 今後は、地域の発展・交流に大きな役割を果たす。 三重県の北西地域と南三重、そして伊勢志摩地域を結ぶ重要な骨格となる道路であり、歴史・文化の交流を図り、経済発展の大動脈となる重要な道路である。	○その他
---	--	--	-------------